VSS パスワード回復手順のある Catalyst 4500 シリーズ スイッチ

内容

<u>概要</u> <u>前提条件</u> <u>使用するコンポーネント</u> <u>背景説明</u> <u>パスワード回復手順</u>

概要

このドキュメントでは、仮想スイッチング システム(VSS)モードで動作する Cisco Catalyst 4500 シリーズ スイッチのパスワード回復手順について説明します。

前提条件

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Supervisor Engine 7-E を実行する Cisco Catalyst 4500 シリーズ ス イッチに基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています 。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的 な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

VSS モードを実行する Cisco Catalyst 4500 シリーズ スイッチのパスワード回復では、スイッチ をスタンドアロン モードに変換する必要があります。これは、スタートアップ コンフィギュレー ションをバイパスするために実行する必要があります。スイッチを変換しなかった場合は、次の エラー メッセージが表示されます。

*Jul 29 12:25:59.403: %RF-5-RF_RELOAD: Self Reload.

Reason: Startup-config ignore not allowed in VSS mode

*Jul 29 12:25:59.568: %SYS-5-RELOAD:

Reload requested by Platform redundancy manager. Reload Reason:

Startup-config ignore not allowed in VSS mode.Please stand by while

リロード後**にCtrl-C**を押して、rommonの各シャーシを切断します。VS_SWITCH_NUMBER rommon変数(rommon1 > unset VS_SWITCH_NUMBER)をクリアして、スイッチをスタンドアロ ンモードで起動します。

パスワード回復手順

スタンドアロン モードにスイッチを変換した後、両方のスイッチそれぞれでパスワード回復を実 行する必要があります。このドキュメントに記載されている手順では、VSS モードのスイッチ 1 から開始しますが、スイッチ 2 にも手順を繰り返す必要があります。

VSS モードを実行する Cisco Catalyst 4500 シリーズ スイッチでパスワード回復を実行するには 、次の手順を実行します。

- 以前にバックアップした場合は、外部ファイルでVSSからrunning-configを入手し続けます。この設定は、パスワード回復が完了した後にVSSを再設定するために使用できます(ステップ10)。
- 2. 各シャーシの電源をオフにしてスイッチをリロードし、rommonモードに切り替えます。

```
Restarting system.
Type control-C to prevent autobooting.
 . .
Autoboot cancelled..... please wait !!!
rommon 1 > [interrupt]
rommon 1 >set
PS1=rommon ! >
RommonVer=15.0(1r)SG1
BOOT=bootflash:cat4500e-universalk9.SPA.03.04.00.SG.151-2.SG.bin,12;
ConfigReg=0x2102
DiagMonitorAction=Normal
BootedFileName=bootflash:cat4500e-universalk9.SPA.03.04.00.SG.151-2.SG.bin
VS_SWITCH_NUMBER=1
ConsecPostPassedCnt=7
RET_2_RTS=12:20:28 UTC Mon Jul 29 2013
RET_2_RCALTS=1375100428
rommon 2 >
```

3. スタートアップ コンフィギュレーションを無視するようにスイッチを設定します。

rommon 2 >confreg

Configuration Summary :
=> load rom after netboot fails
=> console baud: 9600
=> autoboot from: commands specified in 'BOOT' environment variable

```
do you wish to change the configuration? y/n [n]: y
enable "diagnostic mode"? y/n [n]: n
enable "use net in IP bcast address"? y/n [n]:
disable "load rom after netboot fails"? y/n [n]:
enable "use all zero broadcast"? y/n [n]:
enable "break/abort has effect"? y/n [n]:
enable "ignore system config info"? y/n [n]: y
change console baud rate? y/n [n]:
change the boot characteristics? y/n [n]:
Configuration Summary :
=> load rom after netboot fails
=> ignore system config info
=> console baud: 9600
=> autoboot from: commands specified in 'BOOT' environment variable
```

do you wish to save this configuration? y/n $\ [n]: \ y$ You must reset or power cycle for new configuration to take effect

4. config-register が変更されていることを確認します。

```
rommon 3 >set
PS1=rommon ! >
RommonVer=15.0(1r)SG1
BOOT=bootflash:cat4500e-universalk9.SPA.03.04.00.SG.151-2.SG.bin,12;
DiagMonitorAction=Normal
BootedFileName=bootflash:cat4500e-universalk9.SPA.03.04.00.SG.151-2.SG.bin
VS_SWITCH_NUMBER=1
ConsecPostPassedCnt=7
RET_2_RTS=12:20:28 UTC Mon Jul 29 2013
RET_2_RCALTS=1375100428
ConfigReg=0x2142
rommon 4 >
```

5. clear swnum を入力し、仮想スイッチ番号をクリアしてスイッチをスタンドアロン モードに 変換します。

```
rommon 4 >clear swnum
rommon 5 >
rommon 5 >set
PS1=rommon ! >
RommonVer=15.0(1r)SG1
BOOT=bootflash:cat4500e-universalk9.SPA.03.04.00.SG.151-2.SG.bin,12;
DiagMonitorAction=Normal
BootedFileName=bootflash:cat4500e-universalk9.SPA.03.04.00.SG.151-2.SG.bin
BootStatus=Failure
ConsecPostPassedCnt=8
ConfigReg=0x2142
RET_2_RTS=12:25:59 UTC Mon Jul 29 2013
RET_2_RCALTS=1375100759
```

必要なイメージでスイッチを起動します。スイッチはスタートアップコンフィギュレーションを無視し、ブランク設定を作成します。

rommon 6 >boot bootflash:cat4500e-universalk9.SPA.03.04.00.SG.151-2.SG.bin
loading image

Checking digital signature flash1:/USER/cat4500e-universalk9.SPA.03.04.00.SG.151-2.SG.bin: Digitally Signed Release Software with key version A

Rommon reg: 0x00004F80 Reset2Reg: 0x00000F00

Image load status: 0x0000000
######

diagsk10-post version 5.1.4.0

開始するには Enter を押します。

7. スイッチの新しいパスワードとパラメータを設定し、スイッチを VSS モードに変換します 。config-register を変更して、設定が再度バイパスされないようにします。

```
Switch#conf t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)#username xxxx password xxxx
Switch(config)#enable secret xxxx
4k_vss(config)#config-register 0x2102
4k_vss(config)#
4k_vss(config)#
4k_vss(config)#switch virtual domain 100
4k_vss(config-vs-domain)#switch 1
4k_vss(config-vs-domain)#end
4k_vss#wr
Building configuration...
Compressed configuration from 2988 bytes to 1385 bytes
8. VSS モードにスイッチを再度変換します。
4k_vss#switch convert mode virtual
```

- 2. この手順を別のスイッチに繰り返し、switch 2 として VSS モードに参加するように設定します。注: VSS モードでのスイッチの設定についての詳細は、『Catalyst 4500 シリーズス イッチ ソフトウェア構成ガイド リリース IOS XE 3.4.0SG および IOS 15.1(2)SG』の「 VSS の設定」を参照してください。
- ステップ1で保存した元の running-config をテキスト エディタで開き、古いパスワードを 設定から削除します。これで、この変更後の設定をスイッチに安全にロードできるように なりました。こうすることによって、忘れてしまった古いパスワードが再度設定されるこ とがなくなります。